

≡ 美しき空間 ≡

ちからど



● 崎山の神ハサギ



今帰仁村

なまきじん 広報 Nakijin 毎月1日発行

- 今帰仁村民憲章
- 一、 みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
 - 一、 みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
 - 一、 みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
 - 一、 みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
 - 一、 みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

2000年12月
301号



▲あいさつを述べる大城成孝古宇利小中学校長

行われ、小学校低学年、高学年、中学生と三つのグループに分かれた異年齢集団の合同学習形式が参加者の目を引いたほか、午後からは同校の取り組み、へき地教育の実践事例の発表を下に研究協議が行われるなどフロアから活発な意見や質問が飛び交った。

閉会式で大城成孝校長は「いつの時代に

第49回全国へき地教育研究大会

へき地、小規模の特性生かした学習体制のあり方を討議

へき地、小規模、複式学級の学校経営や学習指導等の研究協議を行う「第四十九回全国へき地教育研究大会―沖縄大会―」が十月二十五日から三日間の日程で名護市を主会場に近隣町村で開催された。本村では古宇利小中学校で公開授業や研究討議等の分科会が行われ、全国各地から二百五十人余りの教職員関係者が島を訪れた。

も変わらぬ「心の教育」を重視し、子供たちが主体的に生きるための資質や能力の育成にとともに努めていきましよう」とあいさつを述べると会場から一きわ大きな拍手が沸きあがった。

大会最終日は、村コミュニティセンターホールに会場を移しての分科会が開かれ、へき地教育の利点や課題などを確認しあい三日間にわたる大会の幕を閉じた。



▲ふるさとを題材にした総合学習

▲コンピュータを使つての授業

沖縄県の地方自治、教育、文化、社会福祉、産業経済、一般篤厚の分野で功績のあつた十人に贈られる平成十二年「沖縄県功労章」の授与式が十一月三日、文化の日に那覇市の沖縄パシフィックホテルで行われ、本村出身の普天間和子さん（天底一四三）が、社会福祉部門で表彰を受けた。



▲稲嶺県知事より表彰状が手渡される

式典で稲嶺恵一沖縄県知事は「皆様方の各分野での輝かしい功績は県民一人ひとりが高く評価するものであり、改めてそのご尽力に敬意を表します」とあいさつし、その後、受賞者一人ひとりに表彰状が手渡され功労章がかけられると会場に駆け付けた家族や関係者から祝福の拍手が贈られた。（五面関連記事）

沖縄県功労章を受賞

長年にわたる助産婦としての功績を讃える
普天間和子さん（天底出身）

普天間さんは多年にわたり助産婦として活動し、特に戦後の困難な状況のもと本村はもとより北部地域における新生児の生命の保持や妊産婦の健康管理、育児指導に努めるなど、母子保健の向上をはじめとする本県の社会福祉の向上に多大な功績を残したことが認められたもの。



▲女性の受験者も大型車輛を乗りこなす

大型特殊免許に 島民36名が挑戦

古宇利島で運転免許出張検定試験

古宇利島で初めての運転免許出張検定試験が十一月二十、二十一日の両日行われ、原動付き自転車、小型特殊、大型特殊の三種目の検定試験に六十人余りの島民が受験した。

初日の学科試験に続き、二日目は古宇利漁港内の特設コースで大型特殊免許の実技試験が行われ、総勢三十六人が挑戦する中、女性五人の受験者も男性顔負けのハンドル捌きを見せていた。

今回の出張検定試験はかねてから古宇利区民が強く要望していたもので、それに沖縄県警察本部が応える形で実現。今帰仁交番の安谷屋警部補も連日、運転技術の指導にあたるなど地元本部警察署(東恩納盛儀署長)も全面的に支援した。

多くの島民が受験した検定試験に宮城博政議員は「島民の交通ルールの普及啓蒙をはじめ、今後の産業振興に大きなはずみがつくと期待を寄せ、玉城吉武古宇利区長は「検定試験の実現に向け、積極的に協力頂いた目取真興光警部補と安谷屋清次警部補に深く感謝したい」とお礼を述べた。

納税表彰の推移 (平成7年~11年)

(村県民税・固定資産税・軽自動車税)

年度	7	8	9	10	11
字名	8.5.31	9.5.31	10.6.30	11.5.31	12.5.31
今泊	98.3	94.1	96.2	96.6	94.2
兼次	90.3	100.0	96.5	100.0	100.0
諸志	89.6	93.5	95.4	95.8	96.9
与那嶺	99.9	96.7	100.0	100.0	100.0
仲尾次	93.4	94.4	96.7	100.0	100.0
崎山	97.3	97.6	98.4	100.0	100.0
平敷	98.6	92.6	94.0	89.4	91.4
越地	100.0	100.0	96.1	95.7	95.1
謝名	98.9	95.2	94.3	97.6	94.4
仲宗根	96.5	94.1	91.8	95.5	94.8
玉城	96.2	91.3	95.3	96.7	98.6
呉我山	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
湧川	93.8	88.7	89.9	86.7	95.0
天底	94.0	93.0	93.3	96.5	96.0
勢理客	90.1	91.3	87.0	95.6	94.3
渡喜仁	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
上運天	100.0	100.0	100.0	99.0	99.4
運天	100.0	95.6	100.0	100.0	100.0
古宇利	93.0	92.3	95.7	97.0	97.6
計	96.5	94.5	94.8	96.1	96.5
表彰字	12	9	13	17	14
村納付率	93.8	94.0	93.5	93.4	94.4

※アミかけは、表彰された字 (95%以上の納付)



▲「税の作文コンクール」で表彰を受ける生徒ら

納税優秀団体を表彰し、税の大切さと納税意識を高めようと今帰仁村納税表彰式が十一月二十日、村中央公民館で行われた。

表彰を受ける団体は三税(村県民税、固定資産税、軽自動車税)の納税成績が九五パーセント以上の団体で今回は十四の字が対象となった。

【標語の部】上原美咲(天底小六年)、高尾竹史(兼次小六年)、金城愛乃(北山高三年)【作文の部】當間若菜(今帰仁中三年)、与那翼(北山高一年)

あわせて、今年度の「税の作文・標語コンクール」の表彰式も行われ、村内各学校から寄せられた三百二十八件の作品の中から二十一人の児童生徒の優秀作品が表彰を受けた。なお審査結果は次のとおり(優秀賞のみ)

税式 納税表彰

渡喜仁区が、6年連続で納税100%

「税の作文・標語コンクール」も表彰

第十八回村青少年の主張大会

優秀賞 海からのメッセージ



兼次中学校
嘉数悟志

青い海、そこは小さい頃からのぼくの遊び場でした。漁業をしている伯父をみて、あのように、いつかはウエットスーツをつけて泳いでみたいと、あこがれを抱きながら砂浜を遊んでいました。

成長してきて、ぼくの海に対する思いは変わらず、現在は、休みの時や時間がある時は、すぐ海に出かけ、釣をし

たりスキンダイビングをしたりと地域の海へ出かけていきます。最近はお父さんの許可を得て、ヒレをつけ、カニやタコ漁などできるまでになりました。

このようにして、ぼくは魚への興味や海への思いが深くなっています。

しかし、ぼくたちが、他府県の人達に自慢できるはずの海は、変わってきています。発砲スチロールなどのゴミがプカプカ浮いていたり、ビニール袋や空き缶が散乱したりしている状態です。ビニール袋は、海ガメがクラゲとまちがえて飲み込み、死んでしまうということがあります。また、伯父と一緒に舟を走らせている時、このビニール袋がスクリュウの水をすいあげるところにひっかかり困ったことがあります。この袋は、エンジンの故障にまでつながることがあり、海の上で立ち往生することにもなりかねません。

また、雨が降ると、すぐ赤

土で真っ赤に染まる沖縄の海は本当に美しいといえるでしょう。しかし、これは、確かにぼくたち人間がやっていることです。

沖繩には、美しい青い海を求めておとずれる観光客がたくさんいます。その上、今年にはサミットも行われることになっています。

このような海を、自信をもって、各国の首脳に見てもらえるのでしょうか。サミットをひかえ、海の汚れなども報道され、またクリーン作戦で多くの人が、ボランティア清掃などもくり広げています。

しかし、海へ行ってみると、相変わらず、キャンペーンをする人達のマナーはよくありません。土にもどらないゴミなども砂浜に埋めてしまう人達も数多くいます。そういうゴミは、やはり家庭に持ち帰るべきでしょう。

また、雨が降ると、すぐ赤



▲ビニール袋を片手に一斉に砂浜のゴミを拾う児童ら

童、職員が参加するクンジャー浜（字運天）のクリーン活動が行われ、子どもたちはビニール袋を手に砂浜に流れついたゴミや無造作に捨てられた空き缶や飲食物の殻などを丁寧に集めて回った。

大城淳稔校長はいつもより少ないゴミの量に「地道な活動が地域にも浸透しているのでは」とうれしそうに語った。

清掃活動を通し奉仕の心とふるさとを大切にすることを育てたいと、このほど天底小学校（大城淳稔校長）の全児童ら

このクリーン活動は毎年この時期に行われ、天底小学校の恒例行事になっている。

“ふるさとの海をきれいに”全児童で清掃 天底小学校のクリーン活動

す。その美しさは、青い海ととてもあっています。いつでも、この青い海を保つことができるのは、ぼくたち県民一人ひとりだと思います。

一人ひとりの小さな努力の積み重ねが青い海を保つことにつながり、そして、それが私たちの責任だと思います。

なきじん この人 (2)

沖縄県功労章受賞 普天間 和子さん



「これまで数多くの出産に立ち会ったがどの母子も無事に御産できた事が自分の誇り」と話す普天間さん

「そんな、たいしたことはないのにね」と謙遜するのは、このほど長年にわたる助産婦としての功績と献身的な社会福祉活動が認められ県功労章を受賞した普天間和子さん。(一面関連) ▼普天間さんが助産婦を志したのは

「将来もずっと働ける職に就きたい」という強い思いから。▼産後まもない頃、新聞の「産婆生徒募集」の広告を目に留め胸が高鳴った。心配する家族をよそに生後二カ月の乳飲み子を抱え那覇へ。下宿生活をしながら一年間、産婆学校に通い資格を取得し、その後、今帰仁に戻り看護婦も兼ねて村診療所に勤め当時猛威を震っていたマラリアの治療に奔走した。▼しばらくして助産婦協会からの国頭(安波、安田、楚州)地区での開業の誘いに「困っている人たちの役に立てるのなら」と助産婦としての使命に燃え、二つ返事で承諾したものの、当時は交通の便が悪く、さすが

に往復五里(約二十キロ)の山道を歩いての妊婦の世話にはこたえたようだ。▼また、その頃はどの世帯も生活が苦しく、女性も山仕事の重労働に駆り出されることから御産も早まり「いつ呼ばれるのかと毎日緊張していた」と振り返る。▼しかし、そんな苦労や疲れも「産婆おっかーが来てくれて助かったさ」と喜ばれると忘れてしまった。「世話代がもらえないことも度々あって貧しかったけど、正直に生きていたからみんなが助けてくれて、心はとても豊かだったよ」とも。「もし若返ることができたらもう一度この仕事につきたい」と笑顔で語る姿がとても印象的だった。



▲功労章授賞式には多くの人が祝福にかけつけた。

今帰仁の秋の風物詩となった沖縄県高校駅伝競走大会(男子四十八回、女子十八回)が十一月七日、今帰仁村運動公園を発着とする公認マラソンコースで行われた。大会には男子二十九校、女子十九校が出場。男子は沖繩工業が三年連続四度目の優勝を飾り、女子は豊見城南が十二年連覇を達成した。地元北山高校は、男子が他の部から選手を補っての出場



北山高校健闘!
沿道の観衆沸かせる
女子4位、男子14位
県高校駅伝大会

▲4位入賞のテープを切るアンカーの知念愛選手



▲花の一区を走る平安道晴選手(右から三人目)

ながらも十四位と健闘、女子も各区间で安定した走りを見せ四位入賞と沿道を沸かせた。女子のアンカーを務めた知念愛主将は「届かなかった目標の九州派遣(三位以内)は来年後輩に実現してもらいたい」と思いを託し、浜里正己監督は「男女とも持てる力を発揮した」と選手の頑張りを褒め「日々の練習を大切に一つ一つ上を狙っていきたい」と既に次の目標に照準を合わせていた。一、二年生を主体とした男子駅伝部は今年度より県から駅伝強化校に指定されるなど次年度以降の飛躍が期待されている。



フォト ニュース

むらの 話の 題の

広報なきじんに情報をお寄せ下さい。

〒905-0492
今帰仁村役場「広報なきじん」

“快汗”今帰仁城跡を清掃 世界遺産登録に向けてボランティア



▲村民の奉仕作業ですっきりきれいに

めよう」と十一月十二日、

村環境美化推進委員会の
主催による城趾や周辺の
草刈り作業が行われた。

この呼び掛けに、村内
各字から三百人余りの村
民がボランティアとして
集まり関心の高さをうか
がわせた。

中には家族で参加する
方もおり「村の宝である
今帰仁城跡のイメージを
損なわないためにも、みんな
で感心をもって大切にしてい
きたい」と額に汗をにじませ
作業に精を出していた。

「ふるさとに残る文化遺
産『今帰仁城跡』をき
れいにし、世界遺産登
録に向けての気運を高



▲連続舞踊は、衣装も早変わりで見客を湧かせた。

独特な芸風に笑いの渦 村民芸術劇場「それゆけタケゾー」独演会

村民に優れた舞台芸術
などを提供し、芸術文化
の創造につなげようと十
一月二十一日、村コミュ
ニティセンターで村民芸
術劇場「それゆけタケゾ
ー」當間武三独演会が行
われた。當間さんは、ラジ
オやテレビでもおなじみ
とあって、会場には四百
人を超す観客が詰めかけ、練
り広げる連続舞踊や一人芝居
で観衆を魅了。特に自分自身
の生い立ちからのエピソード
を交えたゆんたくコーナーは、
ユーモアあふれる語り口で会
場をわらいの渦に包み、中
には涙をハンカチでぬぐう人も
であるなど、参加者は満足いく
笑みを浮かべていた。

深緑の中でナイスショット! 第16回村親善チャリティゴルフ大会



▲団体優勝の呉我山チーム

絶好のゴルフ日和のも
と村育英資金の造成を目
的とした恒例の村親善チ
ャリティゴルフ大会が
十一月二日、嵐山ゴルフ
場（パー72）において開
催され、二百四十人余り
の参加者らがプレーに心
地よい汗を流した。
年々レベルが向上して
いる中、四人のスコアー

合計で競い合う団体戦は呉我
山チームが三年連続十度目の
優勝を飾り賞状と記念品が贈
られた。
なお、今回も同大会の収益
金七十万円が大城藤夫教育長
に手渡され関係者を喜ばせた。

成績結果

■団体の部	優勝	呉我山チーム
■個人の部	優勝	當間修 (郷友会) 88 (18.0) 70
	二位	渡慶次道正 (仲宗根) 86 (15.6) 70.4
	三位	喜屋武光雄 (郷友会) 79 (8.4) 70.6
■ベストクロス		
男子		座間味栄達 (郷友会) 73
女子		大城美和子 (今泊) 95



Photo News

基地内の小学校を視察
兼次小・今帰仁小・天底小家庭教育学級

「親としてこれからの国際社会に生きる子どもたちの育成に生かしていこう」と十一月十六日、兼次小・今帰仁小・天底小の三校の家庭教育学級生や役員ら四十六名が基地内の小学校を訪ねる視察研修会が行われた。

参加者のほとんどが基地内の学校を訪れるのははじめてとあって、二十人のクラスに二人の先生がつく授業態勢や特性を伸ばし、個々の学習の進み具合に応じ指導する教育方針に感心しながら案内する係に熱心に質問していた。

そのほか、学校遊具の付添いや訪問案内等、普段から父母らが学校ボランティアとして関わっていることに驚いた様子で感想を話していた。



▲満足のいく研修に笑顔を活かす参加者

言葉の壁のりこえ楽しむ
天底小で外国人青年との交流会

外国人との触れ合いをおして、子供たちの国際理解を図ろうと十一月八日、天底小学校(大城淳稔校長)で六カ国の外国人を迎えた「世界と手をつなごう」交流会が開かれた。

この日は、沖縄国際交流センター(浦添市)の協力のもと、北アフリカや東南アジアなどから各分野の技術研修のため沖縄を訪れている六人の研修生の皆さんが招かれた。

歓迎セレモニーでは、六年生全員による沖縄らしい伝統芸能「エイサー」を披露するとお礼に研修生からギター演奏のもと歌がプレゼントされた。

その後、六つのグループに分かれた交流会では、研修生の母国の写真や地球儀を指差しながらの説明に聞き入るグループや片言の英語で話し掛けダンスや歌などで交流を深めるグループもあり、子供たちは遠い異国の地を思い浮かべながら楽しいひとときを過ごしていた。

大城淳稔校長は「世界中の人々が互いに尊重しあい、手を取り合って生きていくことの大切さを直接のふれあひの中で感じ取って欲しい」と話し、体育館での交流会のあとは、中庭の芝広場でなごやかに昼食会も行われた。

笑顔ではつらつプレー!
各種団体親善ソフトボール大会

スポーツを通して互いの交流を深める各種団体親善ソフトボール大会が九チームの参加のもと十一月十六日、村運動公園サブグラウンドで行われ、暖かい陽気の中、繰り広げるハッスルプレーや珍プレーに応援団も太鼓を

打ち鳴らしての参戦で選手と共に試合を楽しんだ。

決勝戦は北部製糖チームと農業委員会チームが対戦。北部製糖の押し気味の展開の中、農業委員会も後半、自慢の打線が爆発し、延長戦の末、最後は農業委員会が劇的なサヨナラ勝ちで栄冠に輝いた。

歓迎セレモニーでは、六年生全員による沖縄らしい伝統芸能「エイサー」を披露するとお礼に研修生からギター演奏のもと歌がプレゼントされた。

その後、六つのグループに分かれた交流会では、研修生の母国の写真や地球儀を指差しながらの説明に聞き入るグループや片言の英語で話し掛けダンスや歌などで交流を深



▲片言の英語で話し掛け返事に喜ぶ子ども達

保健婦 だより

「膝痛・腰痛 予防教室」 無事終了!!

「年々、膝の痛み、腰の痛みで悩む方が増えてきています。そこで膝、腰の痛みで悩む方々を対象に「膝痛・腰痛予防教室」を開催しました。

腰や膝の痛みの原因は様々ですが、日常生活の中の工夫や膝や



▲調理実習でカロリーも計算

腰に負担を与えない適度な運動を続けることによって痛みを軽減するだけでなく、健康づくりにも役立てることができます。

今回、教室の中では理学療法士による膝痛・腰痛のお話、室内でできる体操の紹介、指導員によるプールを使っての水中運動、ヘルシーなおやつ作りの調理実習等を実施しました。

教室参加者の中には、水中運動が初めてな方も多く、最初は抵抗があったようですが、回数を重ねるごとに水にも慣れ、水中でのウオーキング・ダンベルを使つての体操を楽しそうに取り組んでいる姿が見られました。

参加者からは、「とても楽しい」「参加して本当に良かった」「これから水中運動を続けていきたい」などたくさん喜びの声がかれたほか、また、実際に水中運



▲膝への負担を考えプールで水中運動

動をはじめたことで膝の痛みが軽減した方もいらっしゃいました。

今年度の教室は、十月で終了しましたが、次年度も膝痛、腰痛予防教室を計画しています。村広報・ポスター等にて紹介していきます。

水中運動や体操は、継続することで効果がでています。今回、膝通・腰痛予防教室に参加した皆さん、これから水中運動を始めようと考えている皆さん、無理はせず自分のペースで楽しみながら水中運動を続けて欲しいものです。



ワンポイントアドバイス 運動習慣をつけましょう!

“運動不足解消には水が効果的”

みなさん、“水”のすごい力をごぞんじですか？
水泳は、全身を使うので消費カロリーが高く、しかもからだへの負担は少ない理想的な運動です。泳げない人は、プールのなかを歩くだけでも効果的!!
また、ダンベル体操のおもり代わりに水を入れたり、お風呂では熱めのお湯で汗を流したりと、“水”の使いみちは様々なのです。

ハイサイ(2)おじー おばー

「いろんな人との ゆんたくが楽しみ」

大城ハナさん (87才)



▲あでやかに「節花」を踊る大城さん

ゲートボールや踊りの練習に毎日を元氣いっぱい楽しく過ごす大城ハナさん(仲尾次一二四)▼「七十歳の頃は足も痛かったけど、八十歳になつていろんなことはじめてからはすっかり治つてるさー。若返つたのかねー」と笑みをうべる。▼踊りをはじめ

もう今は変声して高い声がないけどねー。ハハハハハ(笑)」

▼毎日が充実しているハナおばー。取材した日はいつもの仲間と「一人暮らし老人の激励会」で踊りの披露。「舞台上出る時はみんな化粧して(気持ち持ちは)十七、八才。笑われるかもしれないけど楽しいさー」と照れながら舞台上に上がった。

からは、自然と人との出会いも増えたようで「からだ動かし、いろんな人とゆんたくするのが楽しみ。これが健康の秘けつかも」と話す。

▼「若い頃は歌が好きでよく歌って聞かせてたさー。評判だったよー。せめてさー。評判だったよー。もう今は変声して高い声がないけどねー。ハハハハハ(笑)」

歳末たすけあい運動

地域で支えあう

明るいお正月

12月1日～12月31日

村社会福祉協議会

老人保健（老人医療）制度について

☆70歳になったら老人保健（老人医療）

老人保健（老人医療）制度は、お年寄りが安心して医療を受けられるようにつくられた制度です。お年寄りになると、日頃健康管理に気をつけていても、からだに不調がでてくることもあるかもしれません。

そんなとき、安心して適切な医療を受けられるように「老人保健（老人医療）制度」がもうけられています。

☆老人保健（老人医療）制度の対象となる人

70歳以上のお年寄り、又は一定の障害などのあるお年寄り

※ 一定の障害のあるお年寄りとは、65歳以上70歳未満の人で身体障害者手帳1級～3級（一部4級）に該当している人、あるいは国民年金法による障害基礎年金の1級又は2級に該当している人。

☆こんなときには役場へ届け出をしましょう。

	届け出に必要なもの
70歳になったとき	印かん／健康保険証
転入してきたとき	印かん／健康保険証
転出するとき	印かん／健康手帳／医療受給者証
死亡したとき	印かん／健康手帳／医療受給者証
住所が変わったとき	印かん／健康手帳／医療受給者証
医療保険の変更及び喪失	印かん／健康保険証／健康手帳／医療受給者証
一定の障害などのあるお年寄り（65歳以上70歳未満）	印かん／健康保険証／身障手帳又は国民年金証書
生活保護を受けるようになったとき	印かん／健康手帳／医療受給者証

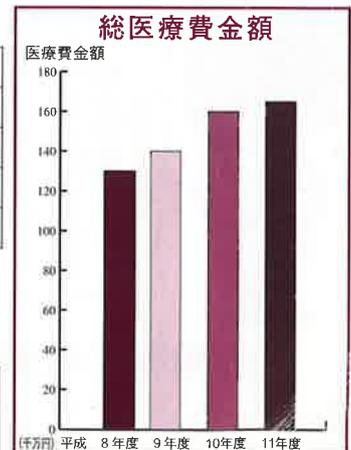


☆今帰仁村の老人医療費

下の表で見ると、老人医療費は年々増え続けています。平成11年度に支払われた老人医療費は17億2千168万円と高額になっております。その内訳は国20%、県5%、村5%で残りの70%は、みなさんが納めている健康保険税でまかなわれています。医療費の増大はみなさんの納める保険税の増加へとつながります。日頃より自分の健康には十分気をつけ、健康管理に努めましょう。

今帰仁村の老人医療費の推移

	総医療費	受給者数	一人あたり医療費	受診件数
平成8年度	13億5千363万円	1,541人	87万8千円	27,489件
平成9年度	14億4千042万円	1,597人	90万1千円	28,841件
平成10年度	16億1千538万円	1,666人	96万9千円	33,659件
平成11年度	17億2千168万円	1,707人	100万8千円	39,404件



7割 各医療保険からの拠出金 (国保、健保、他)

3割 国 県 市 4:1:1

一部負担金

*ただし、介護に重点を置く医療については、拠出金：公費＝1：1の割合で負担することになっていきます。
資料：厚生省老人保健福祉局「老人医療事業年報」

お問い合わせ：役場・保健予防課
☎56-1234

第10回今帰仁村健康まつり

12月9日(土)、10日(日) 会場 村民体育館



12月9日(土)
14:30 開会式 展示コーナー オープン
14:30～17:00 健康チェック、体力測定
親子でクリスマスツリー作り他
15:00～17:00 健康相談
15:00～16:00 水中教室(ウォーキング)

12月10日(日)
9:00～12:00 健康チェック、体力測定
歩き方教室、少年スポーツ教室
12:00～13:00 ヘルシー料理試食会
(紅イモごはん)
13:00～14:40 健康講演会と一人芝居
北島角子
14:40～16:00 少年バスケットボール大会(3オン3)
15:00～17:00 各種健康相談・水中教室

体力測定は先着100名に記念品もあるよ!

主催今帰仁村健康まつり実行委員会

福祉課からのお知らせ

高齢者配食サービス事業

目的…配食サービスを提供することによって、高齢者の食生活のバランスを確保するとともに、その家族の負担の軽減をはかる。

事業内容…栄養のバランスのとれた食事を調理し、訪問の際、利用者の安否を確認し、健康状態に異状があった場合は関係機関へ連絡等を行なう。

利用対象者…村内に居住するおおむね65歳以上の方のうち高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯並びに身体の障害により調理が困難な方

利用料…1食につき350円

高齢者生きがい活動支援通所事業

目的…高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を目的とし、社会的孤立の解消及び自立生活の助長を図る。

事業内容…家に閉じこもりがちな一人暮らし老人等に対し、スポーツ活動や趣味等をプログラムに取り入れた通所型の事業です。

利用対象者…村内に居住するおおむね60歳以上のひとり暮らし老人等。

場所…プログラムの内容に応じて、色々な施設を活用し、事業を実施します。

利用料…1回の利用につき300円



お問合せ 役場福祉課 老人福祉担当 ☎56-2101 (内線140)

新年の集い

日時 平成13年1月4日(木) 午後4時
場所 村コミュニティセンター
会費 2,000円

▲村民どなたでも参加できます。お気軽にお越し下さい。



12月中は「未成年者飲酒防止強化月間」です。

○未成年者の飲酒は法律によって禁止されております。

～低年齢時からの飲酒は特に人体への害が大きい～

○コンビニ、スーパー、酒店、その他酒類を販売している業者のみなさんへ

～未成年者に対して酒類を販売してははいけません。～

～深夜における販売は年齢確認を～

○スナック、カラオケハウス等の飲食店を経営する業者のみなさんへ

～営業所において未成年者に酒類を提供してははいけません。～

～飲食店営業者は法令遵守を～

本部警察署・生活安全課

第52回人権週間

12月4日(月)～10日(日)

考えよう
あなたの人権
私の人権



成人式

=平成13年1月4日=

平成12年度の今帰仁村成人式式典を平成13年1月4日(木)午後2時より村コミュニティセンターで行います。式典のご案内は、今帰仁村に住所を登録されている新成人の方に通知することになっています。

村出身者で現在村外にお住まいの方も参加できます。

式典に参加を希望される方は12月20日までに教育委員会・社会教育課に①氏名②生年月日③村在在時の住所④現住所を連絡の上、お申し込み下さい。電話でも受け付けます。

電話 0980(56)2645・2647
(教育委員会・社会教育課)



21世紀のスタートをみんなで楽しく走ろう!

第23回 新春ロードレース

恒例になりました新春ロードレースが1月2日(火)、村運動公園をスタート、ゴールに開催されます。村民のみなさん新年の誓いを新たに、さわやかな汗を流してみたいいかがですか。

○日時 平成13年1月2日(火)
午前8時受付・9時開会式、9時半スタート

○場所 村運動公園ホッケー場

○申し込み先 村体育協会事務局
Ⅲ56-5955 (村民体育館)

○参加料 小中高生300円・一般500円(保険料含む)

○受付期限 平成12年12月21日(木)午後5時
(参加料持参をお願いします)

- (1)小学生 男女1KM (3～4年生)
男女2KM (5～6年生)
- (2)中学生 男子3KM・女子2KM
- (3)一般(高校生含む) 男子10KM 女子3KM
- (4)30代 5KM
- (5)40代 3KM
- (6)50代 3KM



村社会福祉協議会へ

○津波古充副さん(湧川六七)

九)より妻、フミ様の香典返

しとして十万円

村育英会へ

○第十六回村親善チャリティ

ゴルフ大会の収益金として

七十万円

*ご芳志ありがとうございました。

寄付



12月/師走

1 金	
2 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
3 日	○今帰仁村スーパードッチボール大会 (9:00~ 体育館)
4 月	○健康相談 (9:00~12:00 保健センター)
5 火	○区長会 (14:00~ 2階会議室) ○要約筆記教室 (19:00~ 社協・コミセン) ○与那嶺区ゆいまーる事業 (13:30~16:00)
6 水	○牛セリ市 (10:00~セリ市場) ○リハビリ教室 (13:00~15:00 保健センター)
7 木	○仲尾次区ゆいまーる事業 (13:00~16:00)
8 金	
9 土	○健康まつり (14:30~17:30 村民体育館) ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○小学生ムラ・シマ講座
10 日	○健康まつり (9:00~17:00 村民体育館) ○午後のコンサート (14:00~ コミセン) 有料 ○沖縄県市郡対抗女子駅伝大会
11 月	○健康相談 (9:00~12:00 保健センター)
12 火	○要約筆記教室 (19:00~ 社協・コミセン) ○糖尿病予防教室③ (13:30~16:00 保健センター) ○保健推進員育成事業 (13:30~16:00 保健センター)
13 水	○リハビリ教室 (13:00~15:00 保健センター)
14 木	○1歳半・3歳児健診 (保健センター)
15 金	○北山老人大学修了式 (14:00~ コミセン) ○DPT予防接種 (乳幼児・小6年生対象16:30~17:00) ○今泊区ゆいまーる事業 (13:30~16:00)
16 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
17 日	○子ども会海浜清掃 ○防犯駅伝大会
18 月	○健康相談 (9:00~12:00 保健センター)
19 火	
20 水	○リハビリ教室 (13:00~15:00 保健センター) ○古宇利区ゆいまーる事業 (13:30~16:00)

21 木	○デイケア (13:30~15:00 保健センター)
22 金	○区長会 (14:00~ 2階会議室) ○年末・年始の交通安全県民運動 (1/5まで)
23 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
24 日	○酒田市ふれあい少年の翼 来村
25 月	○健康相談 (9:00~12:00 保健センター) ○村内各学校終業式
26 火	○渡喜仁区ゆいまーる (13:30~16:00) ○糖尿病予防教室④ (13:30~16:00 保健センター)
27 水	○リハビリ教室 (13:00~15:00 保健センター)
28 木	○御用納め
29 金	○閉庁 (12月29日~1月3日まで)
30 土	
31 日	○大晦日

1月/睦月

1 月	○元旦
2 火	○新春ロードレース大会 (10:00~ 村運動公園)
3 水	
4 木	○仕事始め ○仲尾次区ゆいまーる (13:30~16:00) ○成人式 (14:00~ コミセン) ○新年の集い (16:00~ コミセン)
5 金	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
6 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
7 日	
8 月	

年末年始のごみ収集業務について

年末年始のごみの収集業務について次のおりお知らせします。村民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

- ◎業務休業 平成12年12月31日(日) ~ 平成13年1月3日(水)
- ◎収集開始 4日(木)から

最近、家の隅のスペースを利用して畑を始めた。畑といっても猫のひたい程度のもの。▼実りの秋に誘われ、植えた野菜は、チンゲン菜にサラダ菜、大根、パパイア、アロエなどなど。▼しかし、親戚からは「あんな忙しい人が世話できるねー」「最低、日に一度は水かけしないと」と言われ、友人や知人からも「大根まだー」「よっ、篤農家」と冷やかされている。▼「皆の衆、そんなに心配するなかれ。そなたらの玄関前にも近いうち大根の山が置かれていた日があったと訪れる」▼しかし、間違っても「どこの畑で取れたの？」などとヤボなことは聞かぬこと。

編集後記